



# インフルエンザを予防！ しっかり手洗い、きちんとマスク

平成 29 年 1 月 11 日  
富山県感染症情報センター  
(直 0766-56-5431)  
(直 0766-56-8142)

## 感染症発生動向速報

(平成 29 年第 1 週分・1 月 2 日～1 月 8 日)

### 《 インフォメーション 》

#### ●インフルエンザ

今週、インフルエンザの報告数が定点あたり 7.06 人となり、先週 (8.96) から減少しました。

今シーズンは例年より流行が早く、昨年第 51 週 (12 月 19 日～25 日) に注意報レベルとなる定点あたり 10 人を超えました。年明け以降、急激に報告数が増加する傾向があるので、今後しばらくは注意が必要です。(図参照)。

インフルエンザによる学級閉鎖等の措置も報告されています。今シーズンの報告数の合計は 1 月 10 日現在、43 件 (幼稚園 6 件、小学校 26 件、中学校 11 件) となりました。

全国のインフルエンザウイルスの検出状況は、AH3(香港型)が 764 件(89%)、AH1pdm09 が 67 件(8%)、B 型が 25 件(3%)となっています。県内では、AH3 が 41 件、AH1pdm09 が 1 件検出されています。

インフルエンザの流行は継続中です。次のことに注意して感染予防に努めてください。

- インフルエンザ対策の基本は「手洗い・うがい・咳エチケット」
- 発熱等の症状がある場合は無理をせず、登園や登校、出勤を自粛
- 人混みや繁華街への外出をなるべく控え、外出する際はマスクを着用
- 集団生活施設では、可能な場合、流行期の全員マスクの着用が効果的
- 意識がもうろうとするなどの重症感がある場合は、直ぐに医療機関を受診

### 《 全数報告の感染症 》

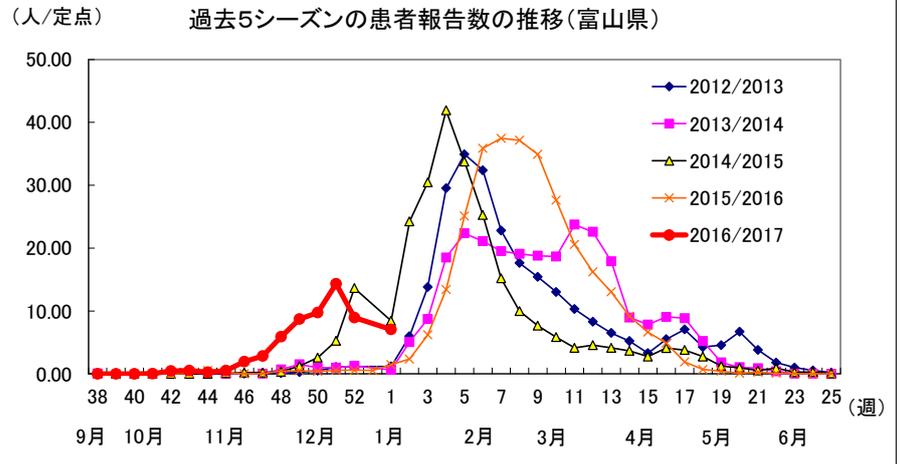
四類感染症 レジオネラ症 1 件 (70 歳代、男性、肺炎型)

五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症 1 件 (70 歳代、男性)

### 《 定点報告の感染症 》

今週の県内上位 6 疾患

順位	疾病名	定点あたりの数		
		今週	先週	増減
1 位	感染性胃腸炎	8.66	14.31	↓
2 位	インフルエンザ	7.06	8.96	↓
3 位	流行性耳下腺炎	1.93	3.14	↓
4 位	R S ウイルス感染症	1.34	0.69	↑
5 位	マイコプラズマ肺炎	0.60	1.00	↓
6 位	A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.59	0.90	↓



○感染症発生動向調査報告状況（平成29年第1週 平成29年1月2日～平成29年1月8日）

分類	疾患	今週報告分（第1週）						累積報告数					
		新川	中部	高岡	砺波	富山市	計	新川	中部	高岡	砺波	富山市	計
四類感染症	レジオネラ症			1			1			1			1
五類感染症	侵襲性肺炎球菌感染症					1	1					1	1
<b>定点疾病</b> （下段は定点当たりの患者数を示す）	インフルエンザ	85	25	57	93	79	339	85	25	57	93	79	339
		12.14	5.00	4.38	13.29	4.94	7.06						
	RSウイルス感染症	3	1	2	2	22	30	3	1	2	2	22	30
		0.75	0.33	0.25	0.50	2.20	1.03						
	咽頭結膜熱		4	7	1	3	15		4	7	1	3	15
			1.33	0.88	0.25	0.30	0.52						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	3	1	4	6	17	3	3	1	4	6	17
		0.75	1.00	0.13	1.00	0.60	0.59						
	感染性胃腸炎	60	37	47	17	90	251	60	37	47	17	90	251
		15.00	12.33	5.88	4.25	9.00	8.66						
	水痘		4	1	1	8	14		4	1	1	8	14
			1.33	0.13	0.25	0.80	0.48						
	手足口病			6			6			6			6
			0.75			0.21							
伝染性紅斑					1	1					1	1	
					0.10	0.03							
突発性発しん	2		2			4	2		2			4	
	0.50		0.25			0.14							
流行性耳下腺炎	4	1	25	5	21	56	4	1	25	5	21	56	
	1.00	0.33	3.13	1.25	2.10	1.93							
マイコプラズマ肺炎			1	2		3			1	2		3	
			1.00	2.00		0.60							
インフルエンザによる入院患者（*）	1		2	5	6	14	5	2	9	22	21	59	

本週報のデータは速報値であり、今後、調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。

\*インフルエンザによる入院患者累計報告数は、平成28年第36週(9月5日)～の集計です。

**※システム障害のため平成29年第1週分の「一週間の注目すべき感染症」のグラフの送付はありません。**

## インフルエンザ定点における患者診断状況

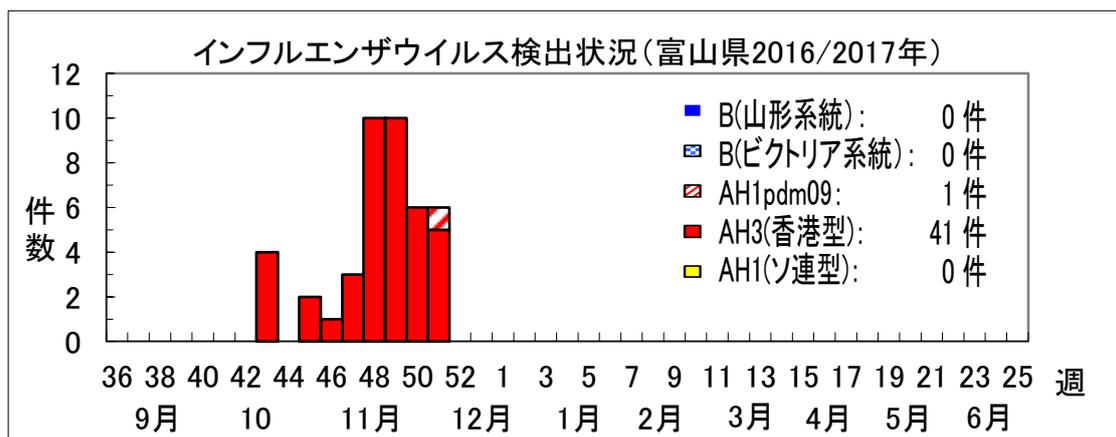
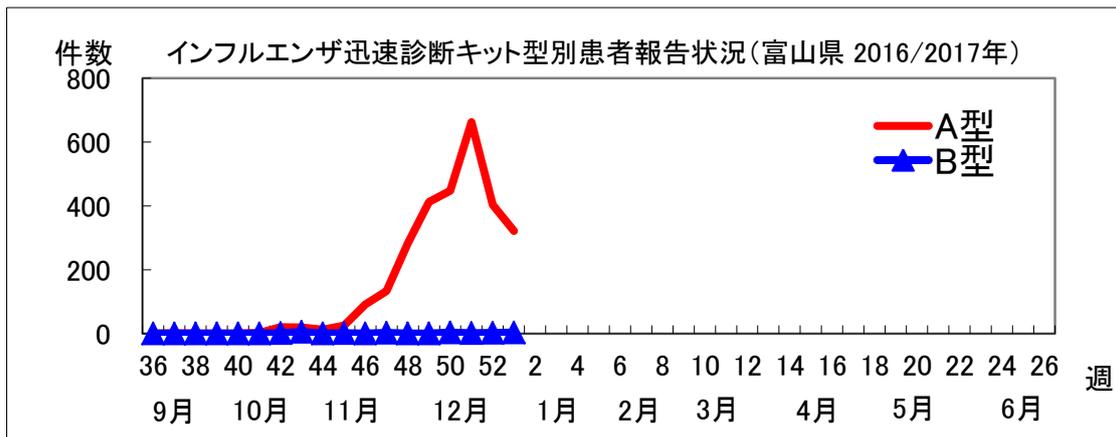
このデータは、インフルエンザ定点医療機関で実施されたインフルエンザ迅速診断キットの診断数を集計したものです。現在、下の表によると、A型が95.0%となっています。

### 第1週(1/2～1/8)：富山県 7.06人/定点 (単位:件)

厚生セン ター・保健所 名	報告数/定点数	迅速診断キット		その他 <sup>※2</sup>	合計
		A型	B型		
新川	7 / 7	75	3	7	85
中部	4 / 5	23		2	25
高岡	12 / 13	54		3	57
砺波	7 / 7	93			93
富山市	15 / 16	77		2	79
富山県	45 / 48 <sup>※1</sup>	322	3	14	339
富山県累計(2016年36週～)		2,836	18	89	2,943

※1 報告定点数の例(45/48の場合):48の定点医療機関の内、インフルエンザと診断した医療機関は45か所で、残りの3か所はインフルエンザの診断がなかったことを示します。

※2 「その他」には、臨床症状等によりインフルエンザと診断したが型別までは不明な患者や迅速診断キットの結果がA型とB型共に陽性の患者が対象となります。



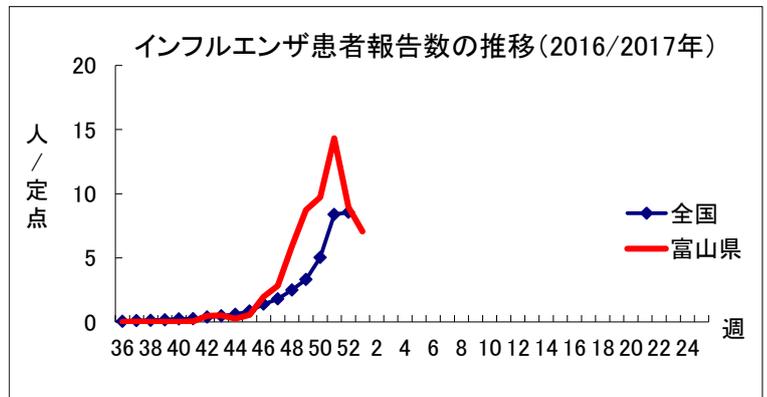


● 定点医療機関からのインフルエンザ患者報告状況

第1週 (1/2~1/8) : 富山県 7.06 人/定点

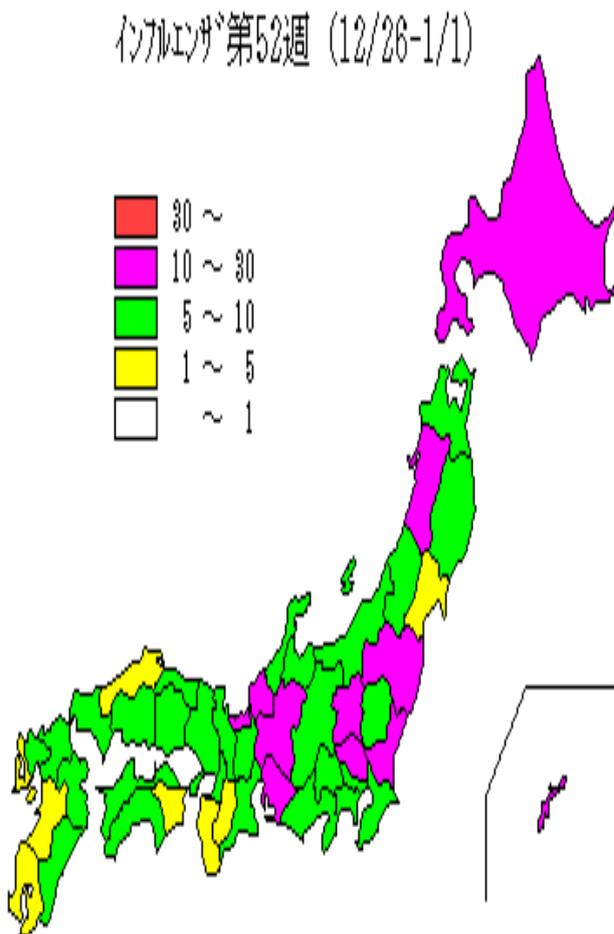
新川 HC (12.14)、中部 HC (5.00)、高岡 HC (4.38)、砺波 HC (13.29)、富山市 HC (4.94)

県内は昨年第51週、注意報の目安である定点あたり10人を超えました。



● 都道府県別インフルエンザ患者報告状況 第52週 (12/26~1/1)

全国の患者報告数は、定点あたり8.54人となり、前週の定点あたり8.38人より増加しました。29都道府県で前週より報告数が増加しています。



都道府県	人/定点	都道府県	人/定点
北海道	11.42	滋賀県	8.51
青森県	5.41	京都府	7.93
岩手県	8.95	大阪府	5.63
宮城県	4.27	兵庫県	6.03
秋田県	17.54	奈良県	4.00
山形県	5.72	和歌山県	2.92
福島県	11.12	鳥取県	5.79
茨城県	14.31	島根県	4.76
栃木県	8.36	岡山県	6.61
群馬県	11.26	広島県	8.10
埼玉県	11.87	山口県	6.06
千葉県	8.67	徳島県	3.68
東京都	9.08	香川県	9.38
神奈川県	8.94	愛媛県	7.61
新潟県	8.38	高知県	7.08
富山県	8.96	福岡県	9.10
石川県	7.65	佐賀県	5.82
福井県	12.66	長崎県	4.00
山梨県	7.17	熊本県	4.08
長野県	7.74	大分県	7.88
岐阜県	18.26	宮崎県	6.00
静岡県	7.24	鹿児島県	3.16
愛知県	12.55	沖縄県	12.21
三重県	7.11	全国	8.54